

# にぎわい

## 日本海にぎわい・交流海道推進協議会通信

### 会員だより



### 「地震・津波防災訓練の開催」 北海道 奥尻町

(奥尻港の現況)

今年で、あの忌まわしい南西沖地震から、早5年の歳月が流れ、奥尻町も復興宣言が成され、地域も落ち着きを、取り戻して来ています。被災当時は、多くの人々の、暖かい支援を受け、一日も早い復興を誓ったものでした。幸いなことに、今年はたくさんの方に、御来島いただき、色々な行事が開催されました。

この度、晴れた秋空の下、奥尻港内の避難緑地前に本部を設置し、檜山支庁地域災害対策連絡協議会主催のもと、檜山支庁管内地震・津波防災訓練が10月20日に行われました。

訓練の目的は、地震・津波災害に際し、救助・救急活動の技術向上を図るとともに、防災についての知識向上を図る事でした。参加したのは、陸上自衛隊、航空自衛隊、海上保安本部、檜山広域行政組合、北海道警察、北海道、各町等、総勢183名で、想定としては、北海道南西沖を震源とするマグニチュード7.8、震度6、最大12.8mの津波が、当町を襲ったと言う前提で始まりました。

まず最初に、偵察訓練、負傷者救出空輸訓練及び被災民緊急空輸訓練が陸上自衛隊のヘリコプターと消防署隊員によって行われた。中型のヘリによる偵察、患者輸送、大型ヘリによる地上偵察隊の輸送、地上部隊による偵察、倒壊家屋からの救助訓練が行われ、大型



▲地震・津波防災訓練対策本部



▲ヘリコプターによる救助訓練

ヘリは人員で最大55名又は、9tの物資を一度に運び、実際の災害時には、相当な力になりそうです。その後、北海道防災航空室のヘリによる負傷者の救出空輸訓練が消防署隊員と連携して行われ、ヘリ隊員のアクロバットを見ている様な動きで、素晴らしい一言、続いて住民参加の初期消火訓練が行われ、『壁までは消火器で消せるが、天井に火が移ると即避難せよ』と説明を受け、最後に自衛隊による給食訓練で電気・水道・ガス等ライフライ

ンが破壊されたとの想定で行われ、自衛隊の野外生活上必要な物はすべて揃っているのには、驚き、関心した次第です。以上で防災訓練は無事終了しました。

振り返って見ると、普段何気なく生活している毎日が実は危険と隣り合わせで、行政の努力と社会資本に頼る状態で、成り立っているのが、改めて確認でき、有意義な一日でした。

(奥尻町 建設課 道永一悦)



## 奥尻（おくしり）町

町名の由来…アイヌ語の「イクシユンシリ」（沖の島）、「ヲコシリ」（向の島）から。

奥尻町は海の幸に恵まれ、ウニやアワビが特産品と なっています。特にウニは町の観光の目玉になってお り、シンボルマークにもなっています。



## レポート



### 「羽幌港緑地ワークショップ」

北海道 羽幌町

(羽幌港の現況)



北海道の稚内から小樽までの日本海側を「日本海オロロンライン」として広域観光拠点 造りを行っており、その中間に位置している羽幌町は焼尻・天売島への離島観光を中心に、 観光拠点の形成に貢献しています。また、離島観光だけでなく内陸部の観光についても切 り替えた河川の川沿いに「リバーサイド開発事業」としてホテル、道の駅、バラ園、海鳥 センターなどの観光資源の整備を行ない、多くの人々が訪れています。

そのリバーサイドの河口にフェリー埠頭、港湾緑地の整備を計画中であり、港湾緑地の 計画に当たっては「ワークショップ」を開催することになりました。「ワークショップ」 (以下「WS」とは一般の色々な立場の人が、共同作業を通じお互いの意見を理解し合 い合意形成を目指す「場」です。従来の委員会形式とは異なり、色々な作業(絵を描いたり、紙を切り張りしたり、ゲームをしたり)を行い、また、参加者全員が自由に意見を交 換できるようにになっています。町造りや都市公園などの計画を行う際、用いられる手法で すが、北海道の港湾緑地で「WS」が開催されるのは初めてです。

羽幌港緑地WSは9月から開催され毎月 1回、計5回行われます。最初は港のイメ ージといった基礎的な話から始まり、先日 終了した3回目には緑地の機能について話 し合われたところです。残り2回で具体的 な施設の検討を行い、完成予想図が出来上 がります。当初はメンバーが集まらず開催 が危ぶまれていましたが、自分たちの意見 ・考えが繁栄されるということもあり、回 を追う毎に人増が増え、熱心な意見交換が 行われています。



▲羽幌港緑地ワークショップの開催

効率的な投資が公共事業に求められる中、港湾緑地も例外にはありません。ただ、港湾緑地の効果は貨幣タームで現されないため、評価を判断することは難しいと思います。「WS」にて計画された緑地についても、数値としては効果は現わすことは出来ませんが、利用される住民の方の意向が踏まえられているので、一番満足していただけるものではないでしょうか。(参加者の多くが他の公園についても「WS」で計画したかった。と言っておられました。)

会員みなさんで「WS」を開催してみたい管理者さんがおられましたら、詳しく紹介いたしますのでご連絡下さい。

(港湾計画課 調査係)



### 羽幌(はぼろ)町

町名の由来…アイヌ語の「ハポロベツ」(流れの広大な河)から。

羽幌町の天売・焼尻島は国定公園に指定されており、天売島は貴重な海鳥の繁殖地となっています。また、焼尻島はサフォーク(めん羊)、多くの草花の宝庫です。



## 編集後記

11月に入り札幌にも初雪が降り、いよいよ本格的に冬が到来となりました。みなさん風邪にはお気をつけ下さい。これから、日本海側は波浪が強く厳しい環境となってきます。紹介した奥尻港、羽幌港は、離島と北海道とを結ぶライフラインとして重要な役割を担っている港です。先日、今回紹介できませんでしたが利尻・礼文島へ、うちの係長が出張に行きました。途中、強風によりフェリーが欠航、島へ足止め状態となり、あらためて船と港の重要さを再認識したところでした。(係長はそれ以上に…)

今回で協議会通信「にぎわい」が1周年を迎え、記念すべき号を北海道開発局にて担当しました。特集などを考えたのですが、時間が無く取りあえずカラフルな紙面にしてみました。次回の当局の担当は3月頃になります。北海道はまだ、冬の中ですが、何か春らしい話題を掲載したいと思っています。(情報がありましたら下記担当者まで)

### 編集・問い合わせ先

日本海にぎわい・交流海道推進協議会事務局

北海道開発局 港湾計画課 調査係内

TEL: 011-709-2311 (内線5617)

FAX: 011-709-2147

e-mail: k-honma@hda.go.jp